

平成 25 年 第 12 回
江戸川区教育委員会定例会会議録

日 時：平成 25 年 6 月 25 日（火）午後 1 時
場 所：教育委員会室

委員長	松原秀成
委員長職務代理者	尾上郁子
委員	石井正治
委員（教育長）	浅野潤一

事務局	教育推進課長	柴田靖弘
	学務課長	住田雅一
	指導室長兼教育研究所長	松井慎一
	学校施設担当課長	佐藤弥栄
	統括指導主事	浜田真二

書記	教育委員会事務局	
	教育推進課庶務係長	丸山継典
	同 主査	飯田常雄

	開会時刻 午後1時
松原委員長	<p>ただいまから、平成25年第12回教育委員会定例会を開催します。本日は傍聴がないということで、日程に入っていきたいと思います。</p> <p>日程第1、署名委員を決定します。本日は石井委員と浅野委員にお願いします。</p> <p>日程第2、議案の審議にまいります。</p> <p>はじめに、第32号議案、特別支援学級の新設についてを議題とします。それでは、内容につきまして、事務局から説明をお願いします。</p>
住田学務課長	<p>第32号議案、平成26年度特別支援学級の新設についてであります。</p> <p>新設の時期は平成26年4月からになります。新設校名、障害種別、固定・通級別につきましては、瑞江第二中学校に知的障害学級の固定級を新設、船堀第二小学校に情緒障害学級の通級学級を新設、船堀小学校に知的障害学級の固定級を新設させていただきたいということでございます。</p> <p>新設理由につきましては、現在、小・中学校の知的障害学級、そして小学校の情緒障害学級について、学級の在籍者数が大変多くなっているということがあります。また、地域的なバランスや使用できる教室の状況等を考慮して、この3校に新設をしたいということであります。</p>
委員長	<p>何かご意見はありますでしょうか。</p> <p>[「なし」と呼ぶ者あり]</p>
委員長	<p>それでは、第32号議案につきましては、原案のとおり決定してよろしいでしょうか。</p> <p>[「異議なし」と呼ぶ者あり]</p>
委員長	<p>それでは、原案のとおり決定いたします。</p> <p>次に、第33号議案、全国中学校地理教育研究会、第54回全国大会に伴う教育委員会後援名義の使用承認についてを議題とします。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
松井指導室長	全国中学校地理教育研究会の会長から、第54回全国研究大会に伴う教育

指導室長	<p>委員会後援名義の使用の申請が来ております。</p> <p>主催は、全国中学校地理教育研究会でございます。本会の目的は、全国中学校の社会科教員を対象として、その資質の向上、特に学習指導要領の精神とそれに基づく地理学習の指導内容、指導方法を研修することを目的として開催するものであります。</p> <p>日時は、平成25年8月2日及び8月3日、午前9時から午後5時ということで、会場が江戸川区の東部区民館になっております。</p> <p>対象者は、各都道府県及び区市町村の中学校長、副校長、主幹教諭、教諭、約200名を目指としております。</p> <p>講師として、文部科学省の教科調査官を初め6名の講師を予定しております。また、発表者としては、現在1名決定しておりますが、他に1、2名ということで、参加費は1日2,000円、これは資料代及びテキスト代等になっております。</p> <p>このことの後援申請につきましては、文部科学省、東京都教育委員会、江戸川区教育委員会等に現在、全て申請中の状況でございます。</p> <p>今年度の大会次第につきましては、新しい社会科地理教育の指導の在り方ということで、教科書・地図帳の効果的な活用をテーマにしております。ご審議よろしくお願ひいたします。</p> <p>委員長 それでは、何かご質問、ご意見等があればお願ひいたします。</p> <p>石井委員 日程のことでの質問したいことがあるんですが、巡検というのは、これはどういうものでしょうか。</p> <p>指導室長 実地調査ということで、今回は、江戸・東京の町づくりと水運ということで、小名木川周辺を実際に歩いて回るということを予定しているようです。</p> <p>石井委員 江戸川区教育委員会後援名義の使用についての申請書についてですが、対象者といたしまして、中学校長、それから副校長、主幹教諭、教諭となっております。一方では全国研究大会要領では、大会参加費として教員等の他に大学生、大学院生とあります。この大学生、大学院生は、どのような方を対象にしているのでしょうか。</p> <p>指導室長 研究会自体は、中学校の社会科教員が対象ですが、大学生、大学院生につきましては、今後、中学校の社会の教員として働きたいという意向のある者</p>
------	---

指導室長	<p>ということで、参加を認めているそうです。</p> <p>実績としては、主催者に電話で確認したところでは、大学生等の参加は全体の1割にも満たないということだそうです。</p>
石井委員	<p>そうすると、特段、大学あるいは大学院に対して周知はされていないと思われるんですが、逆に1割も参加者がいるということは、そういう大学生、大学院生の方がホームページなどで積極的に情報収集をされているということでしょうか。</p>
指導室長	<p>今、石井委員がおっしゃられたように、大学生、大学院生についてはホームページや広報誌や教育の専門誌などから情報収集をされているようです。</p>
委員長	<p>その他いかがでしょうか。</p> <p>[「なし」と呼ぶ者あり]</p>
委員長	<p>それでは、第33号議案は、原案どおり決定してよろしいでしょうか。</p> <p>[「異議なし」と呼ぶ者あり]</p>
委員長	<p>それでは、原案のとおり決定といたします。</p> <p>その他、報告ありますでしょうか。</p>
柴田 教育推進課長	<p>前回、6月11日の第11回教育委員会定例会の際に、この後援名義使用についてご質問をいただきました。そのご報告ということでよろしいでしょうか。</p> <p>第30号議案の第100回の日本エスペラント大会に伴う後援名義の使用的の承認ということでしたけれども、この中で過去の大会で児童・生徒の参加状況についてご質問をいただきました。</p> <p>主催者のほうに確認をしましたが、過去については小・中学生の参加状況は把握をしていないということでございました。ただ、今回は100回目の大会ということで、展示ですとか、講習会の中でローマ字が読めればわかるような内容にして、小・中学生の参加を呼びかけたいということでございました。</p>

委 員 長	ありがとうございました。
教育推進課長	<p>引き続いて、もう一点ご報告いたします。同じく、前回の教育委員会定例会の際に後援名義使用についてご質問をいただきました関口美術館の夏休みの展覧会についてでございます。</p> <p>過去の児童・生徒の参加状況というご質問がございましたが、平成24年春の展覧会については、参加者425名のうち150名が小・中学生でした。平成24年夏休みの展覧会については参加者315名のうち81名。そして、平成25年の春休みの展覧会については、参加者452名中248名が小・中学生ということでございました。</p> <p>春休みの展覧会は、小・中学生の参加が多くなっておりますが、これは作品展示の他に親子陶芸教室を同時開催していたということもあるかと思います。以上でございます。</p>
委 員 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>その他、報告ありますでしょうか。いいですか。</p> <p>それでは、以上をもちまして、平成25年第12回教育委員会定例会を終了します。どうもお疲れさまでした。</p>
	閉会時刻 午後1時32分